

柳井日日新聞

発行所 柳井市 金屋区 436 〒742-0022
 柳井日日新聞社
 編集発行人 友座 泰
 電話 0820-22-0758
 FAX 0820-22-2775
 購読料 1ヶ月1,512円
 (郵送 1,620円)
 振替口座01550-3-005438
 《火・木・土曜日発行》

月でひろった卵
 まあるいたまご
 きいろいたまご
 ふんわりふわふわ
 かわいたまご
 ふしぎなふしぎな
 たまごのお菓子
 月でひろった
 ふしぎな卵

果子乃季
 柳井市大字柳井5275
 Phone 0820-22-0757

柳井市人口・世帯数
 (2月末現在)

世帯数	15,867(+4)
人口	33,754人
男性	15,712人
女性	18,042人
(前月比)	-16人
外国人	128人

麺 多喜ぶき
 麵業 高尾英明
 ◎ 編織り「き
 まち」もつちの
 リン「柳井ロー
 et & Caf
 yabi、倉光
 加工品
 ◎「芋焼酎」平
 東島おこし推
 鈴木喜義会長
 ◎ 柳井甘露醬
 ケーキ「自然
 シェイクワモ
 治代表加工品
 ◎「汐まち鍋」
 港「大島」瀬戸
 理「大島観
 中光雄会長郷
 ◎「自然薯」ろ
 然生家、味澤和
 土料理
 ◎「柳井金魚」



新たに郷土料理など13商品 柳井ブランド 第4次認証 13商品更新し、認証物は全59点

柳井市が、地元の特産品や土産品、自然景観、文化的歴史の財産などを認めた。今回、第4次として、新たに13商品が加わり、

柳井ブランドは通算59点となった。また、この日は、前回認証から3年が経過した第1・2次の13商品が更新認証された。市地域ブランド推進協議会主催。この事業は、市の優れた地域資源を柳井ブランドとして認証し、その販売を支援するとともに、情報発信を通じて観光客の誘致を促し、地域経済の活性化を図ろうと、平成23年1月からスタートさせた。

「きんさい柳井を地域ブランド名に、ブランドメッセージを「金魚ちゃん映ゆる 白壁の町瀬戸内 柳井」とし、同年7月の第1次認証で26点(商品12点、地域資源14点)、同24年3月の第2次認証で5点(商品4点、地域資源1点)、同25年2月の第3次認証で19点(商品17点、地域資源2点)を決定。

今回の第4次分には、応募申請のあった13点のいずれも商品審査の上、3月13日の協議会で選んだ。

この日の式には、認証を受けた11事業所の関係者が出席。協議会長の井原健太郎市長は、一人ひとりに認証書を手渡した後、「柳井ブランドは、市外県外へとPRすることが大切。そして、市民にも宝物である地域資源の良さを知ってもらい、地元を応援し、盛り上げていくことが重要となる。今後は事業者同士がコラボレーションしたりして、柳井の良いものを磨いていってほしい」とあいさつした。

その後、認証を受けた関係者が、それぞれの認証商品について説明し、柳井ブランド認証商品を知ってもらうため、柳井を元気にしようというPR活動など、柳井市が主催する「柳井市PR」の一環として、柳井市市民会館で、柳井市市民を代表して、山口県へ市民の思いを代弁して届ける役割を果たす。4年に1度の山口県議会議員一般選挙が、来月に迫っています。柳井市民であると同時に山口県民であることの「自信と自覚」を培っておられる市民の皆様におかれましては、柳井市を唯一の代表する県議会議員を自らの期待と判断にもとじて選択していただくようお願いいたします。

この後、認証を受けた関係者が、それぞれの認証商品について説明し、柳井ブランド認証商品を知ってもらうため、柳井を元気にしようというPR活動など、柳井市が主催する「柳井市PR」の一環として、柳井市市民会館で、柳井市市民を代表して、山口県へ市民の思いを代弁して届ける役割を果たす。4年に1度の山口県議会議員一般選挙が、来月に迫っています。柳井市民であると同時に山口県民であることの「自信と自覚」を培っておられる市民の皆様におかれましては、柳井市を唯一の代表する県議会議員を自らの期待と判断にもとじて選択していただくようお願いいたします。

特別寄稿

県議選についての所懐

柳井市長 井原 健太郎



今から10年後の2025年(平成37年)には、団塊の世代が75歳以上になり、社会保障制度の持続可能性という観点から「2025年問題」がクローズアップされています。近い将来に、地域経済における労働力、後継者不足、地域コミュニティの維持等も含め、今以上の事態が待ち受けているのです。

そこで、求められるのは、人口増加や経済規模の拡大等を前提とした右肩上がりの発想からの脱却と、諸課題を克服する

ための市民参加による知恵と努力の結集である。私は常々申し上げてきました。つまり、現実と見通しを徹底的に「直視」し、「将来に亘って市民のためになるか」という視点からの対策を練り上げ、それを着実に実行していくことが、将来世代へのツケを回さず本市が生き抜くための道であると考えます。

私は、市長就任以来、本市が有する豊かな天然資源や住みよさを生かした「柳井で暮らす幸せ」を多くの市民の皆様へ実感していただけるよう、市議会の皆様と切磋琢磨し合い、同時に、市民の皆様にも通算260回を超える「市民と市長と気楽にトーク」を始め、あらゆる機会での参加と協力をいただきながら市政を推進して参りました。そして、これからも、リアル・マン・フェスト「チャレンジ柳井2013」で掲げた、子ども・教育環境の充実による「ひとづくり」、「医・職・住」の充実による本市の魅力アップや「さらに開かれた市政」の実現など、50項目の実行へ向けて一歩一歩進んでいくなかで、山口県の役割が重要であることを一層強く感じています。

以下は多々あるなかでの数例に過ぎませんが、県平均の2倍となつてい柳井地域の水道料金高料金対策、小児医療を始めた地域医療の維持、古開作エリアや築出・広

瀬地区の浸水対策にも直結する土穂石川の河川改修、柳井川等の河川整備、早期完成が望まれる県道柳井上関線の道路整備、一般国道188号柳井平生バイパスの早期事業着手、中山間地域や離島の振興、加えて、工場跡地の活用を中心とする柳井駅周辺地区まちづくり構想、文教ゾーンの中核としての柳井商業高校跡地の活用など、これまで山口県に対し理解と協力を強く要望しているところでは、

山口県内13市6町は、それぞれに人口規模も面積も産業の特性も課題も異なります。また、広域行政を担う県と基礎自治体である市町も、組織や財政の規模、役割が大きく異なりますが、各々役割分担のなかで互いに意思疎通を図り、協力して、

そうしたなかで、県政願ひ申し上げます。

この一翼を担う県議会を構成する柳井市区選出の県議会議員には、柳井市の実情や施策を深くご理解いただき、それを踏まえ、県政から市政へのサポートについて、的確な

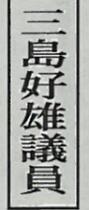
の振興、加えて、工場跡地の活用を中心とする柳井駅周辺地区まちづくり構想、文教ゾーンの中核としての柳井商業高校跡地の活用など、これまで山口県に対し理解と協力を強く要望しているところでは、

山口県内13市6町は、それぞれに人口規模も面積も産業の特性も課題も異なります。また、広域行政を担う県と基礎自治体である市町も、組織や財政の規模、役割が大きく異なりますが、各々役割分担のなかで互いに意思疎通を図り、協力して、

そうしたなかで、県政願ひ申し上げます。

柳井市3月議会・一般質問④

産科開業医の分娩中止対策はふるさと納税の積極推進を提



三島好雄議員

三島好雄議員は、①柳井市の医療対策について、②柳井市の税の増収対策について、の2項目を質問した。

三島好雄議員は、①柳井市の医療対策について、②柳井市の税の増収対策について、の2項目を質問した。

三島好雄議員は、①柳井市の医療対策について、②柳井市の税の増収対策について、の2項目を質問した。

産科開業医の分娩中止対策はふるさと納税の積極推進を提

(2月末日現在)	
世帯数	15,867(+4)
人口	33,754(人)
男性	15,712(人)
女性	18,042(人)
(前月比)	-16(人)
外国人	128(人)

全59点

日的方式には、認証された11事業所の関係者協会の協力を得て、市長は、一人ひとりの認証書を手渡した。井浦は、市外とPRすることができて、市民にも宝の地域資源の良さを感じてもらい、地元を盛り上げていく重要となる。今後、重要となる。今後、重要となる。今後、重要となる。

●「芋焼酎『平郡』(平郡東島おこし推進協議会、鈴木喜義会長加工品)

●「柳井甘露醤油バターケーキ」(「自然薯ケーキ」(シエ・カワモト、川本信治代表加工品)

●「汐まち鍋くさつ待ちの港」(大島観光協会、折中光雄会長郷土料理)

●「自然薯とろろ汁」(自然生家、味澤和志社長郷土料理)

●「柳井金魚ちようちん」

●「甘露しょうゆ」(佐川醤油店、桐山尚久社長)

●「甘露醤油」(重枝醤油醸造場、重枝昇代表)

●「柳井編」(柳井編の会、石田忠男会長)

●「柳井しねんじょカレー」(まつもと、松本正社長)

●「自然薯入り手延べそうめん」(柳の糸、政田自然農園、政田健太郎社長)

●「金魚ちようちん」(グノート、木阪賞文堂、木阪泰之社長)

●「写真上は柳井ブランド第4次認証、更新認証を受けた関係者。下は井原市長から認証書を受け取る関係者」

花き振興センターを紹介

4月1日から、CATVで放映

周防ケーブルネットの自主制作番組「独楽助N AOKIのデイスカパー」(「柳井」)の放映が、このほど、柳井市新庄の農業技術部花き振興センター(石光所長)で行われた。石光所長のインタビューでは、花き振興センターの機能や取り組み状況を聞いた。同センターは、山口県内の花き生産の実状に即した試験研究開発に取り組んでいる。

主な試験研究は、「ユリとリンドウのオリジナル品種の育成」や「バラ、カーネーション、シクラメンの品種比較」など。

研修・担い手育成では、就農支援研修、新規花き生産者への研修などをおこなっている。

また、種苗の提供や花き生産振興の事務作業などをやっているなど、説明した。

特に県が独自に取り組んできた小さなオリジナルユリは、8品種に増えている。

「写真は花き振興センターを紹介した石光所長(左)」



分婉中止対策は 税の積極推進を提案

議事・一般質問④

市医療対策につ

産婦人科の開業医が分婉を中止されることは、昨年8月に伺っていた。昨年9月に、今後のあり方について協議した。県内では、産婦人科医師を派遣するのは難しい。周東総合病院が有益であることが確認されたが、人的負担が大きく、すべてに対応できないことが報告された。

分婉を行わない開業医には、帝王切開など、手術が必要な場合、補助に回っていただくことで対応する。この件は、広報やないで周知させていた。分婉などの相談は、保健センターが対応する。

産婦人科医師不足は全国的な問題であり、関係機関や医師会などと連携していききたい。

【柳井市の税の増収対策について】

△三島議員

今後、予想される財政難の解決策として、ふるさと納税がある。全国の先進地では、ふるさと納税が、住民税の増収を超えるところもある。新たな財源確保の方法として、

各種印刷は 柳井日日新聞へ

地域創業促進総合支援事業

あなたの夢の実現と課題解決をサポートします!

経営相談窓口

毎週火曜日 8:30~17:00
※相談時間は1件につき90分以内といたします。

- 新商品や新サービスを開発したい
- 業種転換を図りたい
- 新分野に進出したい
- 新規開業・独立開業したい
- 各種規制を知りたい
- 補助金等申請書類の書き方がわからない etc

どこに相談したらよいか迷っていませんか?
迷わず相談しましょう!!

相談無料

法律相談窓口

毎月第一金曜日 9:00~12:00
※相談時間は1件につき30分程度といたします。

身近な法律問題(相続・離婚・多重債務など)から、複雑な法律問題(債務整理・債権回収・借地権など)まで、弁護士が直接ご相談をお受けいたします。

柳井地域中小企業支援センターでは、専門家のコーディネーター(中小企業診断士・社会保険労務士・税理士・弁護士)が皆様方のお悩み、ご相談に対応しサポートしています。お気軽にご利用ください。

経営相談、法律相談とも予約制となります。あらかじめ下記へお申し込み下さい。

【相談場所】 柳井商工会議所 〒742-8645 柳井市中央2-15-1

【お申込み・お問合せ】 柳井地域中小企業支援センター TEL(0820)22-3731 FAX(0820)22-8811

(柳井商工会議所内) E-Mail info@yanaicci.or.jp

畳

畳をいつ替えればいいのか
わからない!
傷んでいるけど、どうしていいかわからない!
そんな皆様お電話ください!

畳替えて畳もお部屋もリフレッシュ!!

お見積りの際に見本をお持ち致しますのでご予算に合わせてお選び頂けます。

山中製畳 柳井市下馬皿 ☎22-1885

福祉用具販売・レンタル

指定介護予防福祉用具貸与・販売事業所
医療機器貸与・販売事業所

ケアメディカル

さらや

柳井市中央二丁目17-24
柳井郵便局前
電話・FAX0820(22)0306